

第2回肝属川水防災意識社会再構築協議会を開催しました！

平成28年8月16日
大隅河川国道

1.概要

- 肝属川において、水防災意識社会の再構築を図るため、国・県・沿川1市2町（鹿屋市、肝付町、東串良町）からなる「肝属川水防災意識社会再構築協議会」を平成28年6月2日に設置しました。
- 平成28年8月16日、第2回の協議会を開催し、肝属川における現状の取組状況及び課題等について再確認を行い、関係機関が連携して今後概ね5年間で取り組む事項、ハード対策（シラス堤防の質的強化対策等）やソフト対策（住民目線での啓発活動実施、地域の防災リーダー育成や自主防災組織の育成・強化・支援等）を「**肝属川の減災に係る取組方針**」として策定しました。

2.日時／実施状況

日 時：平成28年8月16日（火）

場 所：大隅河川国道事務所 3階大会議室

出席者：鹿屋市（市長）、肝付町（町長）、東串良町（副町長）、鹿児島地方気象台（台長）、鹿児島県（河川課長）、鹿児島県（地域防災監）、大隅河川国道事務所（所長）
関係機関 約20名が参加

3.議事内容

- ・現状の取組状況及び課題と対策について、意見交換を行った。
- ・水害に負けない強い大隅地域づくりを推進するための取組方針について合意形成がなされた。

4.主な意見等

- ・肝属川においても大規模な浸水のおそれがあるため、地域住民に危機意識をもってもらうのが重要である。

5.減災のための目標

■5年間で達成すべき目標

「いつかくる大規模出水に備え、水害に負けない強い大隅地域づくり」を目指す

洪水を安全に流すためのハード対策に加え、自主防災組織の活動等地域住民が自ら迅速かつ自主的な行動し、被害を最小限に抑えるために、協議会構成機関が連携し、地域住民と協働して水害に負けない強い大隅地域づくりを目指し、以下の項目の取組を実施する。

- ①地域住民が的確に避難行動を行えるように迅速かつ的確でわかりやすい情報発信に関する取組
- ②地域住民の水防災に関する危機意識を再構築するための水防災学習・教育や自主防災組織支援などに関する取組
- ③地域住民が安心して暮らせるようハード対策や水防活動が行える訓練及び情報共有等のソフト対策に関する取組

